

UNICEFに対する新規支援

日本政府がUNICEFのヨルダンでの事業に対して新規に200万ドルの支援を決定したことを受け、2018年2月14日UNICEFヨルダン事務所にてジェンキンスUNICEFヨルダン事務所代表から柳秀直大使に対して、感謝状が手渡されました。

日本の新規支援によって、シリア難民児童のみならず脆弱なヨルダン児童に対して、教育、水衛生、社会的なスキルの向上等の分野での支援が実施される予定です。

ジェンキンス・ヨルダン事務所代表からは、「シリア危機の勃発以降の日本政府のUNICEFのヨルダン事業に対する継続的な支援を心から感謝している。日本政府及び国民の善意を有効的に支援を必要とする児童に届けることを約束する。」との言葉がありました。

